

平成 30 年度 事業報告書

(第 8 期)

一般社団法人グローバル人財サポート浜松

令和 1 年 6 月 27 日

在住外国人支援

4. 介護職員初任者研修

在住外国人を対象にした介護職員初任者研修を年1回開講。

第1期 平成30年6月23日～平成30年12月8日

毎週土曜日 9:00～16:00

修了生 5名（ブラジル2名、フィリピン2名、ペルー1名）

5. 技能実習生（介護）のための日本語教育※

介護職種で来日する技能実習生の受入れ教育を担当。グローバル介護福祉事業協同組合と連携し、介護講習と日本語教育を請け負う予定であったが受け入れ機関である組合がフィリピン政府の海外労働者派遣の公的機関である POLO 東京の認可待ちで事業延期。

6. 介護人材育成のための教育カリキュラム開発と出版（2017年～）

介護技能実習生のための送り出し・受入れ教育カリキュラムを開発し、これから受入れを検討している社会福祉法人や団体等に、そのノウハウを提供する。渡日前事前研修（160時間）にてN4相当の日本語能力が習得できる日本語テキストの開発を行う。令和2年3月に出版ができるようにする。外国人技能実習生向けの介護導入テキストを平成31年2月に出版。

協力；日本医療企画、凡人社

年5回程度の合同会議とテキスト開発

介護導入テキスト「やさしい日本語とイラストでわかるみんなの介護」
（日本医療企画）



7. 地域に資する日本語学校の社会的合意形成と日本語教育人材の育成カリキュラム開発事業（文化庁委託事業）

浜松市ではボランティアの育成に努めてきているが、日本語教師の研修は特定の教材研究を対象としたものや単独学校での開催がほとんどである。こうした状況から、新設日本語学校と社会のステークホルダーを繋ぎ、教師間だけでなく組織間ネットワークを構築し、外国人への日本語教育の質の向上を目指した研修プログラムを開発する。またこれらの活動を通して日本語学校の社会的意義を明確にしていく道筋を作った。

内容は以下の通り

①カリキュラム開発検討委員会の開催：地域に資する日本語教育とは何か、平成29年度までに当法人が開発したステップアップシートを活用しながら、地域社会を構成するステークホルダーの連携によって明確化していく

②教材の開発：社会を俯瞰的に捉え時勢を読みながら在住外国人（留学生、技能実習生、労働者含む）の自己実現に努める日本語教育を行うことのできる人材の育成に寄与できる教材を開発する

③研修の実施：②を活用し、さらにOJTでの実践を通して、地域現場のオペレーションを動かすことのできる人材にすべく研修を実施していく。今年は研全11回での座学研修を行い、初任日本語指導者として必要な知識と技術を習得した。



④事業報告会の開催：本事業の総括と総評を踏まえ、さらに受講者である初任者教員のリカレント教育の一貫として報告会を開催する

事業期間 平成30年6月20日～平成31年3月20日

※うち、平成30年度は①～③を実施

連携機関 TSJ 日本語学校、日生学園浜松校

8. 日本語教育

① 企業内日本語教室

坂下製作所株式会社、平野ビニール工業株式会社の2社において、製造業に従事している外国人技能実習生のための日本語教育を実施。

今年度は技能実習制度の見直しで日本語教育にポイントが付加されるようになったことから技能実習生の日本語能力試験合格を目標に、テスト対策や文化理解を重点的に行った。



株式会社坂下製作所 毎週月曜日 17:15～18:45 全3期（45回）

平野ビニール工業株式会社 毎月1回（全10回）

② 日本語能力試験対策講座（アイムジャパン）

静岡県にいる外国人技能実習生約150人を対象とした日本語能力検定試験対策講座を年2回（春・秋）に開催した。とりわけ、静岡県東部地域の外国人技能実習生向けには、日本大学国際関係学部で日本語教員養成課程を受講している大学生の現場視察研修とし、講師アシスタントを体験できるようにした。

西部会場 研修交流センター 東部会場 プラザヴェルテ 6月、11月



9. 平成30年度外国人介護職員就業開拓コーディネーター事業業務委託（静岡県委託事業）

これから外国人介護職員の受け入れを検討している介護事業所のために、専門家（コーディネーター）を相談員として派遣した。介護事業所からの相談を受け付ける窓口を設置し、電話等による訪問相談の申込受付、介護事業所のニーズ及び課題の把握、連絡調整を行った。また相談体制を整備するため専門家及び事務スタッフを配置し業務実施体制を構築した。また、静岡県内（東部・中部・西部）にて各1回、外国人介護人材の各種受け入れ制度に関する講義や外国人介護職員の指導方法に関するセミナーを開催した。セミナーでは講師に厚労省より外国人介護人材確保の担当官や行政書士、外国人就労支援といった専門家を迎え、参加者からは高い評価を得た。

（1）セミナー開催

対象：外国人介護職員の雇用に関心のある事業所

- 東部会場
平成31年1月17日（木） プラサ
ヴェルテ 401 会議室 37名
- 中部会場
平成30年12月21日（金） あざ
れあ 501 会議室 34名
- 西部会場
平成30年12月14日（金） 浜松市福祉交流センター大会議室 24名



（2）相談窓口の設置

平成30年10月30日～平成31年3月15日

（3）訪問相談

外国人介護職員の雇用に前向きな県内の介護事業所を対象に、専門家（コーディネーター）を派遣し、雇用上の不安を解消するための相談業務を行った。

延べ件数：46件

10. 外国人労働者受け入れのための相談センター開設

外国人労働者の在留資格に関することや受入れに際して生じている相談に対応する相談センターを設置。

期間 平成31年2月～3月（暫定的） 全3回程度

※開催日時 平成31年2月15日（金）、3月8日（金）、22日（金）

いずれも 13:30～16:30

相談件数9社（製造業4社、介護事業者2社、金融機関1社、人材派遣業1社、飲食業1社）

後援 浜松市

次世代育成事業

1. 学生ボランティアセンター事業（学生 FRESH 事業）

学生ボランティアセンターでは、浜松市内で社会貢献活動に励む大学生のボランティア団体を対象に、学生個人の知識や団体の質の向上を目指し、より良い浜松の未来のためにネットワークを構築し、課題や情報の共有を図った。静岡大学、静岡文化芸術大学、浜松学院大学、聖隷クリストファー大学、静岡産業大学の13団体36人が参加。年5回の会議とフォーラムを実施。8月には静岡県内3か所（東部・中部・西部）の学生を一同に介する「100人合宿」を開催。

その学生ボランティアセンターの運営に携わる学生団体 FRESH の顧問として代表理事が携わるほか、当法人が学生 FRESH の活動支援を行う。

2. 学生団体支援事業

① Wide International Support In Hamamatsu (WISH)

外国につながる子どもたちが小学校への入学に適応するよう学校模擬体験を行う外国籍児童就学前学校体験教室「ぴよぴよクラス」と就学後に小学校の授業に入り込み子どもたちの学校生活の支援を行う

「SAT」を実施している学生団体（静岡文化芸術大学と静岡大学、浜松学院大学の学生約40人により構成）の活動を指導・支援する。



② CORES

多文化なまち浜松の魅力をより市民に周知することを目的に、「国際交流クッキング」を開催。団体は今期で6年目。静岡文化芸術大学の学生6人により構成。在住外国人と日本人との新たな文化創造のための活動为目标にする学生の活動を支援した。

③ HANDs

浜松ダバオ友好協会と協働し、浜松からメロディオンをダバオ市の学校に寄贈し、音楽交流を深めるプログラムを実施。HANDsは浜松市内の大学に通う主に静岡文化芸術大学の学生たちによって構成されており、メロディオンの収集、音楽交流プログラムを企画運営するだけでなく、実際にダバオ市を訪問し、フィリピン文化を体感した。また、学校間の音楽交流ができるようインターネットを活用して、両都市の学校をつなぎ、演奏会を開催した。

実施期間 平成31年2月25日(月)～3月3日(日)

音楽交流会 日本：浜松市立佐鳴台小学校 フィリピン：カリタスド
ンボスコ校

助成 公益財団法人浜松国際交流協会

協力 浜松ダバオ友好協会、ダバオ市、浜松市 他



④ 静岡大学地域創造学環フィールドワーク研修

静岡大学の学生を対象に行うフィールドワーク事業の一環で、中部協働センターの受託事業を実施する。これにより、事業を組み立てる力（企画力・計画力・交渉力）を養い、浜松の魅力を多面的に捉えることのできる人材育成を目指した。

3. 異文化理解講座「まちなか異文化体験」（中部協働センター委託事業・静岡大学フィールドワーク事業）

主に中部協働センター地区の住民を対象に地域づくり講座を開催。「まちなか異文化体験」をテーマに、今まで捉えたことない視点から海外と国内を比較し、浜松の街中で知られざる異文化を体験する機会とした。また、この事業は、静岡大学のフィールドワーク事業の受け入れとしても位置づけ、講座の一部の内容を大学生が企画し、講座自体を大学生が運営するようにしていく。

期 間 11月17日、12月8日、1月19日、2月9日 土曜日 10:30～12:00

内 容 「きぬさら」を味わおう、ベンチャー企業で活躍している元留学生のお話、アンデコ体験、多文化まち歩き



4. 磐田市外国人留学生職場交流会開催業務（ふじのくに大学コンソーシアム事業）

磐田市が主催する「外国人留学生向け就労支援ビジネスツアー」のツアーアテンドを行った。磐田市がアレンジをした企業と、竜洋海浜公園でのバーベキューで交流会を開催し、実際の企業を見学したり経営者から話を聞いて、就職につなげることを目標とする。

日時 平成30年11月24日（土）10:00～16:00

場所 磐田市内企業

外国人留学生参加者数 計 17 人（静岡大学 9 人（申し込み 10 人、うち当日 1 人が体調不良で欠席）、静岡文化芸術大学 4 人、静岡県立大学 1 人

日本人大学生参加者数 3 人（静岡大学 2 人、静岡文化芸術大学 1 人）

参加企業 （株）大成エンジニアリング、（有）ラマニーズ、東海熱処理株式会社、株式会社オキソ、平野ビニール工業株式会社



5. 新事務所お披露目会・大学生社会人交流花火鑑賞会

大学生と社会人をつなぎ、交流を深めることで、大学生の社会を見る目を養うことを目的に花火鑑賞会を開催。元経団連広報部長である井上洋氏をお迎えし、大学生向けの「未来を見る」講座も同時開催した。市内の起業家や社会人が多数参加。大学生にとっても感動的な 1 日となった。

日時 平成 30 年 7 月 21 日（土）14:00～21:00

場所 グローバル人財サポート浜松研修室・屋上



その他、事業

1. 講師派遣事業

外国人介護人材受入れに関する講演や技能実習生を対象にした日本語教育に関する日本語教師研修、学校での国際理解講座、信用金庫様従業員向け研修などに、講師を派遣した。

浜松いわた信用金庫、静岡県西遠女子学園、株式会社篠研 など



2. 視察受け入れ事業

専門家の調査研究や、大学院生の研究のために当法人の事業視察を受入れた。

受入れ元：法政大学、福井ランゲージスクール 他

3. その他

① 情報提供事業

ホームページや Facebook を活用して、当法人の活動に関する様々な情報を提供し、法人の存在を周知していく。

雑誌や新聞の取材を受入れ、活動の意義や社会的課題を発信していく。

その他、法人として必要な事業については代表理事の判断のもと、必要な場合は理事に諮ることにより実施していく。

② 地球市民賞受賞

国際交流基金2018年度地球市民賞を受賞。静岡県としては2例目。外国人材の育成や独自テキストの開発、フィリピンなどの海外諸国との架け橋になり大学生の活動を広げていることが先進的であると評価された。

本受賞を日頃よりお世話になっているみなさまと喜び分かちあうために、受賞記念パーティーを開催した。

日時 平成31年3月16日（土）18:30～20:30

場所 スズキゲストハウス

参加者数 130人



③ 浜松ダバオ友好協会

これから受け入れを始めようとしているフィリピン出身の外国人材にとって、浜松市がより魅力的な街であるように、浜松ダバオ友好協会の設立に参画。静岡県行政書士会元会長である岸本敏和を理事長に、浜松市会議員高林修氏を副理事長に迎え、大学や企業との連携を図っていく。